

産業経済

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村山小屋条例の一部を改正する条例

資材の仕入れ価格や、ヘリによる荷揚げ費用が高騰しているため、大人の宿泊料金を値上げするもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成27年度白馬村一般会計補正予算（第8号）

◎農政課関係

農地集積協力金は対象者と対象面積の増加により、161万6千円を増額。災害に関する特別賦課金と小水力分の地域用村単独土地改良事業として155万7千円を増額。

◎観光課関係

●親海の工事はこれで終了か。

●3年間で改修を行い、全て擬木になり今年度で完了。施設の保険も掛けるようにしたので、今後は雪害も対象になる。

反対討論

人事院勧告の給与の増額に反対。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●平成27年度白馬村下水道事業特別会計補正予算（第4号）

災害復旧事業費を増額補正。震災に伴う漏水の増加で、使用料還付金を増額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成27年度白馬村水道事業会計補正予算（第3号）

人事院勧告に伴う人件費補正、災害対応臨時職員不足分、冬期間本管破裂対応、災害復旧工事追加分の補正。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

●陳情第13号 最低制限価格の設定に関する陳情書

◎趣旨

建築物の設計・工事監理業務の発注に対し、90%以上の最低制限価格の設定を要望するもの。

討論

ダンピング防止につながるが、90%以上の設定が妥当なのか判断がつかない。継続審査とすべき。

▽委員多数の賛成により継続審査にすべきものと決定

●陳情第14号 国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書

◎趣旨

国土交通大臣の定める報酬の基準に準拠した契約の締結を求めるもの。

●努力義務とされたが建設課の対応は。

●国の示したルールなので準じるのが基本という趣旨は理解できる。

討論

新しい業務報酬基準も研究すべきで、継続審査。

▽委員多数の賛成により継続審査にすべきものと決定。

●陳情第17号 姫川上流漁業協同組合に対する指導事業補助金の増額に関する陳情書

◎趣旨

ヤマメ、ニジマスなどの放流経費は組合員賦課金などでまかなっている状況で、河川湖沼の自然環境整備の振興による地域活性化、観光振興に寄与する側面が大きいので、助成金の大幅な増額を希望するもの。

意見

震災で姫川と平川は工事で魚が住みにくい状況であると思う。生態系を守っていく事などを考えると、補助金を増額すべき。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

合同審査報告

追加議案として提出されたものだが、審査日数が不足すると判断し会期を延長して、総務社会委員会・産業経済委員会の合同審査を行った。

●白馬村第5次総合計画の基本構想

基本構想については、地方自治法の改正により議会の議決事件からは外れたが、平成27年第2回定例会において、条例が制定され議決事件として追加されている。

意見

*審議会等の審議内容に関する資料がなかなか提出されなかった。

*執行部側に丁寧な説明を求めらる。

*総合計画の基本構想、基本計画、実施計画は一連のものであり同時に提出 するべき。

*村の他の行政計画を反映していないようであり、今後の計画には盛り込んでほしい。

*キャッチフレーズについては目指すべきところが見えてこない。

*10年後の未来を設定出来ないのではないかと。

*キャッチフレーズは場所やロケーションではなく、人に焦点をあてて良い。

*こういった重要議案は追加議案として出すべきではない。

（総務社会委員会）

反対討論

総合計画は基本構想、基本計画、実施計画がひとつのパッケージとしてあるもので、条例では基本構想だけの議決であるが、一体として審査しなければ内容がわからないので、こういった提出の仕方では反対する。

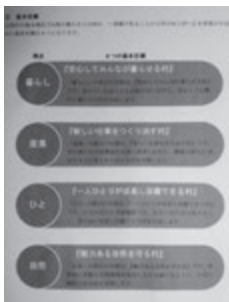
賛成討論

賛成するが、第4次総合計画の検証もあわせ、計画には行政のトップの考えも盛り込んだ計画としていただきたい。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

（産業経済委員会）

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定。



第5次総合計画16ページに載っている「基本目標」